

Yusuhara a Home from Home (第5部)

責任感をもって進んでいくこと (Responsibility in Moving Forward)

ここ数週間で、世界中に大変な不確実性と変化がもたらされました。ごくありふれた日常というものが、いつ戻ってくることになるのか、全く見当もつかなくなったからです。僕の母国イギリスでは、国家レベルでのロックダウン（人や企業の活動を大幅に制限する政策）実施6週目に入りました……ここ梶原から見ると、ちょっとかけ離れたお話ではありますね。

こういう状況は確かに今も進行中です。ただその一方で、日常生活を安全な形で続けていく必要と責任がありますし、校内での重要な行事については、いろいろな条件を考慮しながら、変更が加えられた上で実施されました。6年生と9年生の卒業式は、そうした行事のひとつだったように思います。参加は卒業生、その保護者と、先生方のみでした。例年に比べればささやかな出席者数だったとはいえ、卒業式そのものはいつもと変わらず感動的なものでした。式後に行われた9年生最後のホームルームと、最後の挨拶に立ち会うことができた（通常の授業は、卒業式までずっと中止されていました）のは、僕としては幸運なことでした。学園では、彼らとはほんの8か月くらいの関係だったとはいえ、やはりしみみりした気持ちになります。みんな素敵な生徒たちでしたから。

そして異動の時期がやってきました。学園でも多くの先生方が、新しい勤務校へと転任されました。よく知っている方々ですから、ちょっと寂しくなります。でも……ありがたいことですが、この町のみなさんと同じく、新しく来られた先生方も素晴らしく、親切な方々ばかりです。今年度、一緒にお仕事をしていけるのが楽しみです！



入学式の様子です。僕も新7年生を担当することになりました！

(日本語訳：町 ALT 森竹弘喜)